

## 2. 博物館活動報告

※新型コロナウイルス感染症の流行により、4～9月は閉館、10～3月は学内者と入構許可を受けた学外者のみ入館可とした。

### ①開館日数・入館者統計

月	開館日数	教職員				本学学生				卒業生				一般				午前計	午後計	夜間計	入館者計
		午前	午後	夜間	小計	午前	午後	夜間	小計	午前	午後	夜間	小計	午前	午後	夜間	小計				
4月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
5月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
6月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
7月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
8月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
9月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
10月	20	13	9	0	22	25	31	0	56	0	1	0	1	17	15	0	32	55	56	0	111
11月	13	12	34	0	46	192	226	0	418	0	0	0	0	27	48	0	75	231	308	0	539
12月	18	10	28	0	38	66	99	0	165	0	0	0	0	0	5	0	5	76	132	0	208
1月	13	0	7	0	7	2	14	0	16	0	0	0	0	0	3	0	3	2	24	0	26
2月	14	14	17	0	31	9	1	0	10	1	0	0	1	2	10	0	12	26	28	0	54
3月	18	17	9	0	26	13	37	0	50	0	0	0	0	16	14	0	30	46	60	0	106
合計	96	66	104	0	170	307	408	0	715	1	1	0	2	62	95	0	157	436	608	0	1,044

表1 令和2年度入館者数

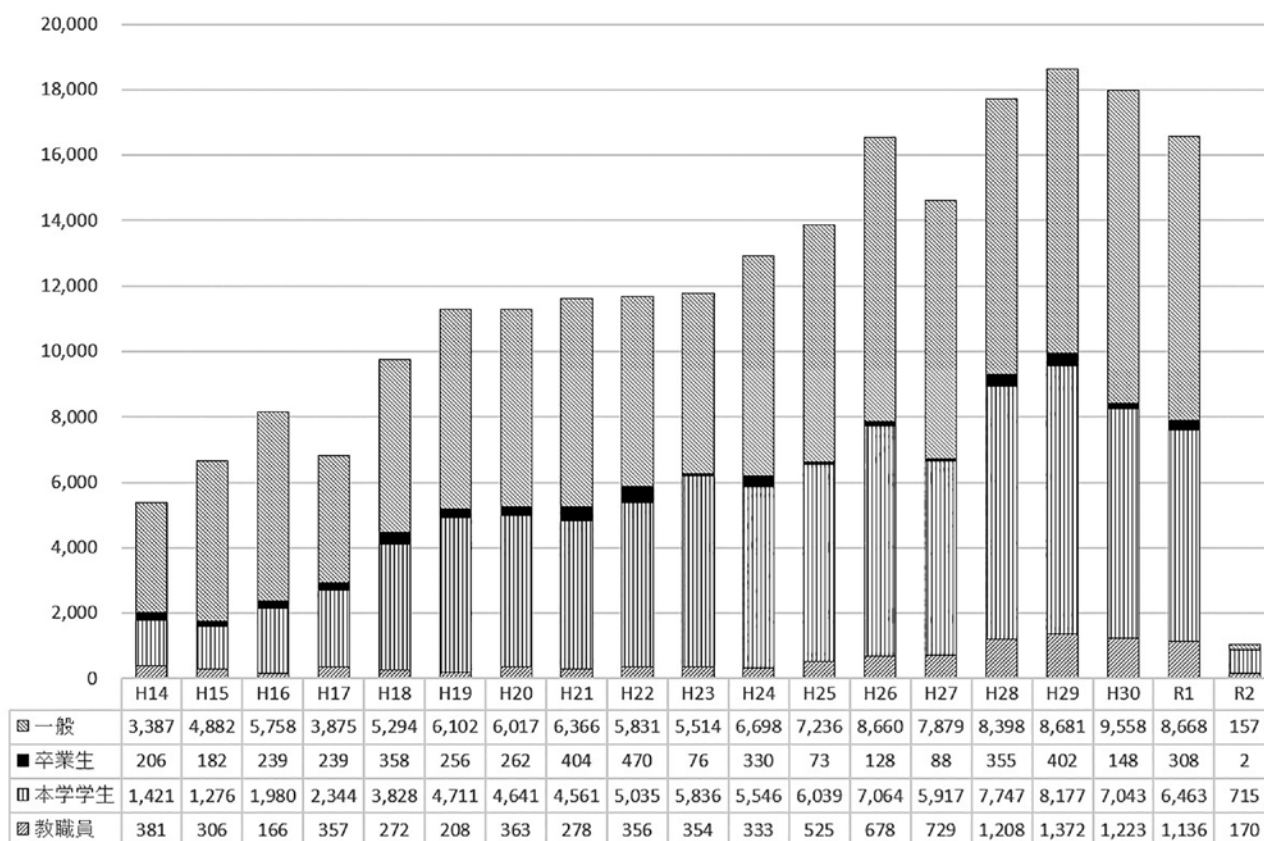


表2 入館者数の推移

令和2年4月1日～令和3年3月31日間の開館日数、入館者数と各年度の入館者の推移は表1・2に示したとおりである。

本年度は、新型コロナウイルス感染症の流行により、日本政府から緊急事態宣言が発令され、それに伴い、駒澤大学がキャンパスへの入構制限を行ったため、4～9月の期間を臨時休館とした。その後、駒澤大学キャンパスへの入構制限が緩和され、10月1日（木）より学内者および入構許可を受けた学外者を対象に再開してから、96日開館し、延べ1,044人の利用者があった。

また、令和2年度の団体見学は、駒澤大学主催のキャンパス見学会での見学のみ入館可とした。

〈団体見学等〉

10月12日(火) キャンパス見学会27名

11月10日(火) キャンパス見学会24名

11月23日(月) キャンパス見学会28名

3月4日(木) キャンパス見学会3名

## ②会議・出張

### 運営委員会

日時：令和2年11月27日（金）午前10時40分より

場所：禅文化歴史博物館 B1F 博物館実習室

議題：1. 諸報告

- 1) 研究活動推進委員会からの移管事項について
- 2) 令和2（2020）年度 禅文化歴史博物館活動報告
2. 審議事項
  - 1) 「禅文化歴史博物館運営委員会規程」の改正について
  - 2) 令和3（2021）年度事業計画・予算について
3. その他

### 資料選定委員会

なし

### 出張

10月2日(金) 寄贈資料の状態確認(寄贈者宅)(塚田)

11月26日(木) 寄贈資料の受取り(寄贈者宅)(塚田)

1月15日(金) 寄贈資料の受取り(寄贈者宅)(塚田、

佐藤)

2月9日(火) 寄贈資料の受取り(寄贈者宅)(塚田)

## ③展示

当館は、本学の特色を生かした禅の文化と歴史をテーマとした常設展示室（1階）、さまざまな大学の情報を発信する企画展示室（2階）、『旃檀林』の学寮時代からの歴史を辿る大学史展示室（2階）で構成されている。

令和2年4月1日～令和3年3月31日間に予定していた展示・催事は、巻末の別表の通りである。また、実施した展示は以下の通りである。

### 常設展示室

常設展示室は、各展示室に掛軸風のデザインの解説グラフィックを配し、ガラスケース内に各展示室のテーマに対応した資料を展示している。ガラスケース内の展示について展示室AとBの二部構成としている。本年度は、禅ブランディング事業主催の企画展のために会場提供し、展示協力を行った。（担当：佐藤・塚田）

### 企画展 禅ブランディング事業主催

#### 禅の受容と展開チーム研究成果報告展

会期：11月23日（月）～3月24日（水）

禅ブランディング事業禅の受容と展開チームは、2016～2020年にかけて、主に近世以降における禅の日本的受容と、禅が日本社会に及ぼした影響について研究を進めてきた。

禅の受容と展開チームの研究は、禅僧と一般大衆という2つの視点が設定されている。前者は、中国の仏典・禅籍の受容と日本的な展開をテーマとした禅籍抄物の研究、禅籍の出版・注釈書の研究、禅籍目録電子版の作成などを行ってきた。後者は、文学や芸能、美術、喫茶文化など、日本文化の中に禅の影響を見出す試みを行い、研究活動だけではなく多くのイベントも実施した。

今回の展示では、5年間の研究成果の一端を展示として紹介した。



### 企画展示室

企画展示室は、多様なテーマを基に学内の研究成果や学術情報を発信している。

館主催の企画展以外にも、各学部・学科などとの共催展も視野に入れた企画を展開し、学生・卒業生などの発表の場ともなっている。本年度は、博物館学講座受講者による、企画展示室を利用した展示の実習が行われた。

#### 第14回博物館学講座企画展 あなたのとりの妖怪展

会期：11月23日（月）～12月15日（火）

博物館学講座の授業の一環として、受講生自身の手による企画展を実施した。

古来、人びとは災害や疫病が起こった際に、人知を超えた存在に原因を求めることが見られた。本年度は未曾有のコロナ禍を背景に、古来より畏怖または祈りの対象として、人びとの身近に存在してきた妖怪に着目した。人間と妖怪の関りにまつわる歴史的資料や、世田谷区内に残る伝承などを紹介した。各企画展示室のテーマは以下の通り。

- 企画展示室1 天狗
- 企画展示室2 だいだらぼっちと河童
- 企画展示室3 狐
- 企画展示室4 妖怪と私たち



### 大学史展示室

大学史展示室では、駒澤大学ゆかりの禅僧の墨蹟、貴重な寄贈資料等を随時展示している。本年度は、下記のテーマのもと大学史の一端を紹介した。

#### 特集展22 1964と変わるコマザワ

会期：10月1日（木）～7月22日（木）

※次年度へ継続

1964年の東京オリンピックと前後して、駒沢地域や本学が遂げていった変貌に焦点を当てた。「1964と世田谷・駒沢」「1964と駒澤大学」の2つのテーマを設け、前者では路面電車から地下鉄への変化や駒沢公園の整備、後者では開校80周年を迎えた本学が、第一次ベビーブーム世代の入学を背景にしたキャンパス整備などの転換期や、1964年に全日本大学野球選手権大会で初優勝し、オリンピックデモ野球に参加した本学野球部の活躍を紹介した。※本展示は、2020年4月より開始する予定であったが、オリンピックの延期・感染症拡大防止のための休館のため、開始時期を変更した。



**④出版事業**

・禅文化歴史博物館紀要第4号（平成31年度・令和元年度）（令和2年11月30日発行）

**⑤資料収集**

当館では曹洞宗からみた禅の歴史と文化にスポットを当て、曹洞禅僧の墨蹟を中心に収蔵している。また臨済宗・黄檗宗・中国僧の墨蹟や禅画、寺院関係資料、禅文化の中で派生した美術工芸資料、東洋の仏教美術資料に至るまで、幅広い分野の資料を収集につとめている。購入資料は、展示に供すると同時に、博物館学講座等での学習にも使用している。通年で購入検討資料についての情報を集め、資料選定委員会にて審議して購入し、必要に応じて外部の有識者による意見を求めている。

**固定資産****教育用図書資料**

なし

**教育用備品資料**

なし

	当初予算	補正予算	決算額	残額
博物館収蔵品費（図書）	10,000,000	0	0	10,000,000
博物館収蔵品費（備品）	1,000,000	0	0	1,000,000
計	11,000,000	0	0	11,000,000

表3 予算・決算（資料購入）

**寄贈資料**

なし

**資料修復・資料保存環境等**

資料修復はなし。

資料燻蒸として、「飯塚禅心・哲英師関係資料」（本紀要13～16頁、17～21頁参照）や、学内から移管された大学史資料などを、関東港業株式会社東京営業所に運搬し、同社にて委託燻蒸を行った（11月16日～21日）。

また、平成22年度以来継続している当館所蔵「正法眼蔵辨註」版木の摺り作業を行い、保存対策を行った。株式会社アダチ版画研究所の摺師により、本年度は巻十一の26枚52面を実施した（2月17日～19

日）。

**⑥教育・普及に関する協力**

・博物館学講座

当館は、規程第3条5項に謳われているように、博物館学講座への協力に関する事業を行う目的で開設された施設でもある。当館での博物館学講座の利用を、科目ごとにまとめると次の通りである。

**博物館実習（学内）**

館所蔵の実物資料を用いた掛軸等の取扱い方の実践、博物館資料の記録方法の学習（資料の写真撮影）、博物館施設見学（展示室・作業室・収蔵庫）、博物館のバックヤードの見学（学芸員の視点から、現在の博物館の取り組みを紹介）、展示実習の企画・準備に関する助言・補助。

本年度は、オンライン授業と対面授業を併用して実施した。

5月12日(火) 博物館学授業(オンライン)  
 5月19日(火) 博物館学授業(オンライン)  
 5月26日(火) 博物館学授業(オンライン)  
 6月2日(火) 博物館学授業(オンライン)  
 6月9日(火) 博物館学授業(オンライン)  
 6月16日(火) 博物館学授業(オンライン)  
 6月23日(火) 博物館学授業(オンライン)  
 6月30日(火) 博物館学授業(オンライン)  
 7月7日(火) 博物館学授業(オンライン)  
 7月14日(火) 博物館学授業(オンライン)  
 7月21日(火) 博物館学授業(オンライン)  
 7月28日(火) 博物館学授業(オンライン)  
 8月3日(月) 博物館学授業(補講)  
 8月4日(火) 博物館学授業(補講)  
 9月22日(火) 博物館学授業  
 10月6日(火) 博物館学授業  
 10月13日(火) 博物館学授業  
 10月20日(火) 博物館学授業  
 10月27日(火) 博物館学授業  
 11月3日(火) 博物館学授業  
 11月10日(火) 博物館学授業  
 11月17日(火) 博物館学授業  
 11月24日(火) 博物館学授業  
 12月1日(火) 博物館学授業

12月8日(火) 博物館学授業  
 12月15日(火) 博物館学授業  
 12月22日(火) 博物館学授業

## 展示実習

第14回博物館学講座企画展 あなたのとりの妖怪展  
 準備・撤収期間：11月10日(火)～12月22日(火)  
 会期：11月23日(月)～12月15日(火)  
 参加人数：延べ 448名

博物館実習(学内)の一環として、講座受講者による企画展示室を利用した展示の実習が行われた。博物館側としては、より円滑な協力体制をとれるよう引き続き努めていきたい(詳細は展示・セミナー・その他の活動を参照)。

### ・授業活用

当館では各学部に関連した企画展示や、図書館所蔵の貴重書展示を行っており、展示室や資料を利用した様々な講義・演習が行われている。

〈授業見学等〉

10月2日(金) 歴史・佐々木先生授業19名  
 10月6日(火) 経営・村山先生授業9名  
 11月24日(火) 歴史・角道先生授業8名

## ⑦博物館資料の活用

### (1) 資料の掲載

#### ・【駒沢ゴルフ場 画像】

(株)春秋社『五輪と万博－開発の夢、翻弄の歴史』  
 (令和2年7月30日発行)

#### ・【『熱海探検画報』より「険峻をよちて」画像】

(株)新泉社『シリーズ「遺跡を学ぶ」別冊05考古学ガイドブック』(令和2年11月1日発行)

#### ・【高祖道元禅師行跡図第19図、涅槃図】

(株)青丹社『禅の風』49号(令和2年11月10日発行)

#### ・【墨蹟 白隠慧鶴筆「尊」】

(株)淡交社『なごみ』2021年3月号(令和3年2月27日発行)

#### ・【正法眼蔵副書(巻首部分、第2葉裏、第3葉表)】

(株)宝島社『名僧のことばでわかる仏教入門』(令和3年1月14日発行)

#### ・【正法眼蔵副書(巻首部分、第5葉裏・第6葉表、巻末花押部分)】

(株)NHK出版『道元『正法眼蔵』をよむ』(令和3年3月25日発行)

### (2) 資料調査

なし

### (3) 資料貸出

なし

## ⑧渉外

例年、10月末～11月上旬の期間に、東京都教育委員会主催「東京文化財ウィーク」に協力する形で、「東京都選定歴史的建造物の公開事業」に参加している。本年度は、新型コロナウイルス感染症予防対策として、大学キャンパス内への学外者の入構が制限され、一般公開ができないため、参加を見送った。

## ⑨広報・紹介・取材協力など

### (1) 博物館紹介

- ・『毎日新聞日曜版』(令和2年8月9日号)
- ・東進ハイスクールYouTubeチャンネル 東進TV「【駒澤大学】キャンパスの魅力 | 夢に近づく 自分の道を見つける!!」(令和3年1月29日公開)

### (2) 展示紹介

なし

### (3) セミナー紹介

なし